

解答は全て7枚目の解答用紙に記入しなさい。

受験番号

【問題一】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

今まで私たちは自分のこと、友だちのこと、家庭や学校のこと、**I**、人間社会のことだけを考えてきた。そして、何とか少しでもいい生活しようとして毎日頑張ってきた。このような一人ひとりの人間の営みが、町や都市をつくり、日本でも、アジアでもそして世界的にも、現在の文明をキズいてきたといえる。しかし、結果的にはその文明が森や自然を実は破壊してきたことになっている。山を削り、海や川を埋めつくし、自然を開発して都市をつくりをしている間に、森は急速に消えた。時に善意で行ってきた人間活動が、逆に一番大事な人間の命、心、遺伝子資源に影響を与えかねないような現状をつくり出した。そして未来への暗い陰が今やひたと私たちのまわりにおしよせてきている。

私たちは今、自然を開発し、「死んだ材料」を使って、形の上できれいな町をつくっても、気がつけば、しよせん人間は自然界においては緑の植物の消費者の立場でしかないということを知らされている。森と人間は生産者と消費者の関係である。正しくいえば緑、森こそが私たち人間の命の基盤であり、人間は他の動物たちと同様に、実は緑の寄生虫の立場でしか生きていけないのである。

地球上に現在生き残っている寄生虫も、今まで自分の寄主から血を吸って生き延びてきた。**II**、寄主が絶滅するほどは吸わなかった。もし、**※1**のべつまくなしに寄主を殺した時は、寄生虫ももはや宿る寄主がいなくなつて、長い生物進化のカタイで、とうの昔に滅んでいる。地球上の生物社会では寄主と寄生虫の間には**①**微妙な共生関係が成立しているのである。

たとえばヘビとカエルを例にとってみよう。長い命の歴史でも広い地球上でヘビもカエルも絶滅したという例はない。だが、もし絶滅するとしたらどちらが先だろうか。いばっている食う立場のヘビか、またヘビににらまれたカエルか。動物の様々な行動の研究でノーベル賞を受賞した、コンラート・ローレンツ博士によれば、ヘビが増えすぎると被捕食者のカエルをどんどん食べてカエルの数が減る。カエルが十分の一以下になると、もはやヘビはえさのカエルを探せない。**III**、実はいばっているヘビが最初にだめになる。これが自然界の真の姿である。現実にはヘビが急に滅ればカエルが増えて、カエルが増えればまたヘビが増える。このようにして長い命の歴史においても、広い地球上で、両方とも絶滅したことはない。しかし**②**、どちらかがだめになるとすれば、実はいばっているヘビが先であることを

私たちは知らなくてはならない。

今、私たちは人類は、食う者と食われる者の立場を表す、食べ物でつながっているひとつの鎖——食物連鎖——の頂点に立つて、一番いばつてあらゆる欲望を満足させようとしている。人口が倍々ゲームのように増えて、まるで人類が地球上を制覇したような気分になっている。しかし、自然界のエネルギーの流れから見た生態系の中で、緑の植物が生産者であるのに対して、人間が消費者の立場、寄生虫の立場にいる以上、緑——それが立体的につまっている森——を食いつくした時に最初にだめになるのは、人間の方である。

緑を残し森を守ろうとする叫びは、今、日本はもとより世界各地で起こっている。しかし四六千年の人類文明の歴史をみる時、かつて、未開時代には森は人類の生活に立ちほだかる極めて強い敵であった。地球上に人類が誕生したのは、今から三、四百万年といわれる。私たちの百年たらずの人の生涯と比べると長く感じられるが、実は地球上の三九億年以上の生命の歴史に比べれば、瞬きするよな時間である。カナダのある科学者は、人類が出現してからの三百万年は、もし地球上に生命が発生してからの歴史を、一年三六五日の暦にするとしたら、実は二月三日の大晦日の夜、除夜の鐘が鳴る午前〇時の前の三分間にしか相当しない、と計算している。今、地球上でいばっている私たち人間は、長い地球の生命のドラマの最後の幕あいに、やっと間に合つて現れた存在であるのにもかかわらず、自分たちだけが生き残り、よりよい生活をしようとして、大事な生存の基盤である生態系とその主役である森の破壊を進めている。

地球上の生物圏のエネルギー**※2**、循環の**※3**システムから見れば、緑の植物は唯一の生産者である。人間も含めた動物は消費者。そして物を腐らせるのであまり良いイメージのない空気中や土の中の**※4**バクテリアやカビなど、目に見えないような微生物たちは、実は地球上に出た様々なゴミや廃棄物、すなわち動物の死体や植物の落ち葉、枯れた枝、根や幹を時間をかけて完全に無機物に分解している。そしてその無機物は水にとけて養分となり、緑の植物の根から再び吸収される。つまりバクテリアやカビは分解**※5**還元者であり、地球上の唯一の**※6**クリーナーといえる。

地球上のエネルギーの流れは、それぞれの地域の山や谷、池や川、海など各所から地球規模へと、縫い目のない靴下のように、すべてがつながつた一つの**※7**壮大な循環システムである。この生産、消費、分解・還元の三つから成り立っているシステムは、生態系Ⅱエコシステムという言葉で表現されている。

その生態系**③**ゆつくりまわる歯車のシステムの枠の中で、人類が三百ないし四百万年ほど昔に地球上に誕生して以来長い間、問題はなかった。当時は生態系の中で量的にも最も多く分布していた植物の集団——森——は、機械も器具も持たない、やっと四本足から二本足で歩き始めた人類にとつては、木の実や草の**※8**新芽や動物を食べ物として採取する大切な住みかであり生活の場であった。しかし彼らは次第に木や石で道具をつくり、火を使うようになった。そして森を焼いて、焼け跡にソバやヒエ、キビなどを植えた。数千年前、はじめてに野生のイネを使った米づくりをするようになった時から、森は、畑や水田、集落、村や町をつくるためには、人間の前に立ちはだかる敵であつたかもしれない。

人類は**④**文明発展の敵であつたとさえ考えられる森を克服することで、やっと人間らしい生活をするようになってきたといえる。

（宮脇昭『森よ生き返れ』より。文章の一部を改めました）

※1 のべつまくなしに…ひっきりなしにだらだらと続く様子。

※2 循環…まわりめぐって、もとの所にもどること。また、それをくり返すこと。

※3 システム…仕組み。

※4 バクテリア…細菌。さいきん

※5 還元…もとの状態に戻すこと。

※6 クリーナー…よれを落とす薬品や道具。

※7 壮大…大きくてりっぱなこと。

問一 部 a e のカタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで書きなさい。

問二 部 について、つくり出したの主語にあたる部分はどれですか。次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

時にア善意で行ってきたイ人間活動が、ウ逆に一番大事なエ人間の命、心、遺伝子資源に影響を与えかねないようなオ現状をつくり出した。

問三 I III に当てはまるつなぎことばの組み合わせとして正しいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア	I	II	III
	または	そこで	また
イ	I	II	III
	そして	または	つまり
ウ	I	II	III
	だから	そして	しかし
エ	I	II	III
	つまり	しかし	そこで

問四 部 ①「微妙な共生関係」とありますが、この関係の説明として最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 寄主が減びてしまうと、寄生虫も減びてしまうという関係。
イ 寄生虫が減びてしまうと、寄主も減びてしまうという関係。
ウ 寄主がたとえ減びたとしても、寄生虫は生き残るという関係。
エ 寄生虫がたとえ減びたとしても、寄主は生き残るという関係。

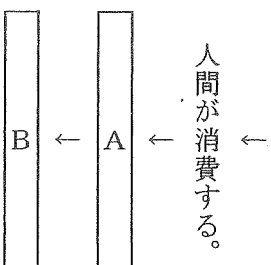
問五 部 ②「どちらかがだめになるとすれば、実はいばっているヘビが先であることを私たちは知らなくてはならない」とありますが、ここで筆者が言いたいこととして最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ヘビはカエルを捕食するが、本当の意味で強いのはカエルのほうであり、このまま捕食を続けるとヘビから先に減んでしまうということ。
イ 人間が自分の本当の力を知らずに、あらゆる欲望を満足させようとすると、必ず人間にとってよくない結果となって返ってくるということ。
ウ 人間が自分たちのことを地球上の支配者だと考えているとしても、生態系がくずれた時に真つ先に減びるのは食う側である人間であるということ。
エ 力の強い者から減びてしまうので、生物どうしで食物をうばい合うことはやめて、あらゆる生物が共に生きていく方法を探さねばならないということ。

問六 ――部③「ゆっくりまわる歯車のシステム」とありますが、この「システム」の流れを説明すると次のようになります。A・
Bにはどのような内容が入りますか。文章中のことばを使って、それぞれ二十字以上二十五字以内で書きなさい。（句読点や記号も一字に数えます）

緑の植物が生産する。

人間が消費する。



問七 ――部④「文明発展の敵であったとさえ考えられる森」とありますが、なぜそのように考えられるのですか。その理由として最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 森は、人間が畑や水田、集落、村や町をつくるために、邪魔な存在だったから。

イ 森は、人間に食べ物を供給してくれる、なくてはならない必要なものだったから。

ウ 森は、人間が木や石で道具をつくり、火を使うようになって、必要なくなったから。

エ 森は、生態系の中で最も多く分布していて、道具を持たない人間には脅威だったから。

問八 この文章は内容から考えて、大きく二つに分けることができます。後半はどこから始まるか、はじめの五字を答えなさい。（句読点や記号も一字に数えます）

問九 次のア～オについて、本文の内容として正しいものには○、正しくないものには×をそれぞれ書きなさい。

ア 人間は森を破壊してより豊かで便利な生活を手にすることができたが、命の基盤である森がしだいに失われつつあることで、逆に人間の未来があらゆるものになってしまっている。

イ 人間は長い時間をかけてめざましい進歩をとげてきたが、地球の歴史に比べればそれはほんのわずかな時間であり、真に地球上で一番の存在になるための努力をし続けなければならない。

ウ あまり良くないイメージであるカビも地球規模で考えると重要な役割を果たしており、さまざまな生物の働きがあつてはじめて地球のエネルギーの流れがうまくつながって機能しているといえる。

エ 人間は生物の存在にかかわるあらゆるものを作り出す生産者として、敵であった森を克服することで長い歴史を生き残り、今や地球を制覇した生物として、食物連鎖の頂点に立っている。

オ まるで地球の支配者のようにふるまっている人間も、森がなければ滅びてしまう存在であり、私たちの子孫はこれから何よりも森や地球の生態系を守ることに努めなければならない。

【問題二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

二十歳の夏を日本で過ごすためにミュンヘンからやって来たシユテファンは、友人のフミと一緒に新宿に出かけた。

「やっぱり、はじめにカメラを買うよ。」

シユテファンは、展望台をゆっくりひとまわりしてから、いった。

彼は、古いカメラをひとつもってきていた。が、今回の日本滞在中に、新しく日本製のカメラを買うことは、重要な予定のひとつだった。た。

そもそもシユテファンが学校で理科の勉強を始め、機械器具などに興味をもつようになって以来、周囲ではどんどんメイド・イン・ジ

ヤパンのマークが注目されだした。テープレコーダー、ラジオ、ステレオ、そのうちに時計、自動車、そしてカメラ。おとなたちは、いまいまでも交えながら、これらの分野で進出してくる日本の技術に、^{※1}嘆息をもらしていた。が、若者たちのあいだには、とくに音響製品などの場合、どうせ買うならお金をためて日本製にしよう、という傾向が強かった。シュテファンがミュンヘンでもっているラジオカセットも、中古品ではあるが、兄の友人からゆずり受けた日本製だ。中途半端なものを買うより、たしかにこの方が性能がよくて、そのわりに高くない。それ以来、次の目標はカメラになった。日本製のカメラ、それを本場の日本で買うぞ、予算は三万円ぐらいまで考えてもいい、とシュテファンは、かなり^{※2}きばったつもりでいる。

「じゃ、下において、そのへんに、大きな^aセンモン店があるはずだから。うちのパパも、そこで買った。安いんだって」
ふたりは、そのカメラ屋をすぐ見つけた。入口にドアがあるのかどうかも気がつかなかった。歩道つづきのようで、そのままもう店にはいつていた。

「いらつしやいませ、いらつしやいませ、いらつしやいませ！」

おなじ言葉が波をなしてひろがり、シュテファンは、店の手前から奥から、何人もの店員の視線が自分にそそがれるのを感じた。客も大勢いるようだ。が、「いらつしやいませ」を連発する店員のほうの数も多い。

陳列ケースがわんさと並び、ひと目ではどこからどう見ていつてよいのか混乱してしまう。ドイツの町では店のウィンドウで玉座を占めるかのように、いくつかの日本製品が^{※2}誇示されているものだが、そのかずある^{※3}商標が、ここでは一堂に会して、右から左から目にとびこんでくるのだ。

「いらつしやいませ、どれをお出ししましょうか」

ほとんど二メートルおきには立っていると思われる店員たちが、どのお客にも愛想よく声をかける。彼らは、自分の持ち場の商品でできるだけよみなくパツパツと売りさばいていくことを任務とこころえているのだろう。早口の説明、小走りに品物をとりにいく姿、カチツ、カチツとシャッターを試す音、そのコーナー、コーナーに客たちがむらがつて、それぞれ真剣な^{※4}おももちで品選びをしている。いったいこれほど^①あわただしい活気につつまれた店が^②西ドイツにあるだろうか？

何人かの店員に声をかけられ、立ちどまり、ガラス棚を眺め、また歩きだしていたシュテファンは、ふとフミにいった。

「ぼくの予算が三万円までだったと、いつといて」

フミからそれを聞いた店員は、すぐ、

「では、こちらのコーナーにおいでくださいませ、いろいろございます」

と、ふたりをすこし離れた売り場に案内した。その陳列ケースには、一五八〇〇とか、二三九〇〇、三二〇〇〇など、シュテファンが安心できる数字が並んでいる。なるほどたくさんある、この中から選ぼう、と、彼はここで時間をかけることにした。

「ここらへん、いかがですか。先月売り出されたばかりの新製品で、たいへん^bヒョウバン^bになっております。外国の方も、きのうおひとりで買っていました」

ひとつ出されたカメラを受けとって、シュテファンは、軽いな、と驚いた。が、見て、おや、と^③つまずいたような気もちになった。それは、^{※4}絞^{しほ}りもシャッター速度も焦点も、すべて機械が自動的に調節してくれる「新製品」だった。

「いや、だめです」

きつぱり拒絶して試してみようかもしれないシュテファンの顔には、^④かるくプライドを傷つけられた色があった。

「オートマチックがほしいんじゃない。ぼくは、ぜんぶ自分の思いどおりになるカメラがほしいんだ。自分で焦点をあわせ、自分で^{※5}露出^{ろしゅつ}をきめ、自分でシャッター速度を考える」

と、彼はフミに^{※6}ぶ然^{ぶぜん}としている。

店員は、いまのカメラをケースに戻しながら、

「そうですか、しかし、^⑤だったら価格の方がねえ……三万円ってわけにはちよつと……」
あきらかに^{※7}当惑^{とうわく}した表情である。

そうか、と、シュテファンも気づく。日本にいいカメラが買える、と、素朴に思い込み、値段との^{※8}かねあいのことを忘れていた彼だった。日ごろ夢にえがいていた、^⑥いわば芸術的創造性の発揮できるようなカメラは、日本でもそれなりに高価なものだったのだ。

オートマチックはおもちやだ。ひとつシャッターを押すだけで「失敗のない」写真ができあがる。味もそっけない、無個性の技術。成功も失敗も、自分自身の力の結果として示されるのでなければ、自分は、そもそもカメラなどともつきもりはなかった。だからといって、自分の年齢と状況に不相応なほど高価な買い物をする考えもない。なんとかして最初の予算で、自分の気に入るものを見つけ出したい。店員は、しかし親切だった。そして、ほかの陳列ケースをかけたまわっては、いくつか^cコウホ^cになりそうなものを取りだしてきた。シュテファンは、それらのカメラをひとつずつ持ちかえては、十五分も二十分も時間をかけて^{※9}吟味^{ぎんみ}した。ちよつとでも不明な点がある

と、こまかく質問し、説明を求めた。店員は根気づよく応対した。

買いものひとつするのに、それほどしつこく選べるという ^d シュウカンは、日本にはない。あまりのねばりかたに、^⑦ さすがのフミ
 がハラハラしだすところ、ようやくシュテファンは見つけた。いくつか試し、比較^{ひかく}しあい、なでまわして、あきらかにひとつだけ、こ
 れだぞ、と ^e カクシンの持てるものが、他を引き離^{はな}しだしたのだ。二八八〇〇円。しかし、そのカメラは、シュテファンにとって、急に
 十万円のもが偶然^{ぐうぜん}なにかのはずみで彼の予算の地平におりてきたといっているほど、すばらしいものに思えてきた。
 「決めた、これだ」

^⑧ シュテファンは、さつき両替^{りようが}えしたばかりの、ピンと張った一万円札を三枚、札入れからとりだした。

(子安美知子『日本(ヤーパーン)の夏』より。文章の一部を改めました)

- ※1 嘆息…ため息。 ※2 誇示…ほこらしげに示すこと。 ※3 商標…その商品を製造^{はんせい}販売している会社を示す文字や図形などのしるし。
 ※4 絞り…カメラで光の量を調節する装置。 ※5 露出…写真をとる時に、フィルムに光を当てる作用。
 ※6 ぶ然…意外なことに感じあきれはてたり、がっかりしたりして、ことばもない様子。 ※7 当惑…どうしたらよいかわからず、困ること。
 ※8 かねあい…一方にかたよらずに、バランスがとれていること。つりあい。 ※9 吟味…細かく念入りに調べること。

問一 〓部 a s e のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 〓部 ㊦「きばった」、㊩「おももち」とありますが、それぞれの意味として最も適当なものを次のア～エの中から一つずつ選び、
 記号で答えなさい。

- ㊦「きばった」 ㊩「おももち」
 ア 気楽に行動した イ 慎重^{しんちょう}に行動した ウ 思い切って行動した エ 考えず行動した
 ア 手つき イ 表情 ウ 話し方 エ 行動

問三 〓部 ①「あわただしい活気」とありますが、その様子として最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 客に注文を受けた店員が店内を歩き回り、自分の持ち場になかなかいられない様子。
 イ 客が商品を試す音や、店員の対応の声が店中から聞こえ、店がにぎわっている様子。
 ウ 店員が次から次へと客の対応をこなし、客はじっくり商品を選ぶことができない様子。
 エ 店員ができるだけ高い商品を買わせようとして、多くの客に次々に声をかけている様子。

問四 〓部 ②「西ドイツにあるだろうか」とありますが、この表現にこめられた意味として最も適当なものを次のア～エの中から一つ
 選び、記号で答えなさい。

- ア 西ドイツにもあるかもしれない。 イ 西ドイツにもあればいいのに。
 ウ 西ドイツにはあるにちがいない。 エ 西ドイツにはありはしない。

問五 〓部 ③「つまずいたような気もち」④「かるくプライドを傷つけられた色」とありますが、「シュテファン」はなぜこのような
 気持ちになったのですか。その理由を四十文字以上六十文字以内で書きなさい。(句読点や記号も一字に数えます)

問六 〓部 ⑤「だったら価格の方がねえ……三万円ってわけにはちよつと……」とありますが、この店員が言いたかったのはどのよう
 なことですか。次の()に入る適当なことを本文の内容から考えて、十字以上十五文字以内で書きなさい。ただし、店員の会話
 文として書きなさい。(句読点や記号も一字に数えます)

「それでしたら、ご希望のカメラは()」

問七 ―部⑥「いわば芸術的創造性の発揮できるようなカメラ」とありますが、その「カメラ」で「シユテファン」がとりたい写真としてふさわしくないものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア シユテファンの力量が示される写真。 イ シユテファンの個性があらわれる写真。
ウ シユテファンにしかとれない写真。 エ シユテファンの技術が影響しない写真。

問八 ―部⑦「さすがのフミがハラハラしだす」とありますが、この時のフミの気持ちとして最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア シユテファンが店員のすすめる商品をあまりに時間をかけて調べているので、店員が不快に思うのではないかと心配している。
イ シユテファンが店員のすすめる商品をあれやこれやと迷ってばかりいるので、早く決めてもらいたいと思っている。
ウ シユテファンが店員のすすめる商品に文句ばかり言うので、本当に気に入るものは店内にないのだからと不安になっている。
エ シユテファンが店員のすすめる商品に見向きもしないので、店員が気の毒になり、連れてくるのではなかったと後悔している。

問九 ―部⑧「シユテファンは、さつき両替えしたばかりの、ピンと張った一万円札を三枚、札入れからとりだした」とありますが、この時のシユテファンの気持ちとして最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 店員に無理を言い、自分の意見をゆずらずおしとおしたからこそ、本当に欲しかったものを手に入れることができたのだと、自分のやり方に得意げになっている。
イ さんざんわがままを言って、店員やフミに迷惑をかけたので、嫌な思いをさせたと思い、せめて新しいお札で会計をして感謝の気持ちをあらわそうとしている。
ウ 考えぬいたあげくに選んだカメラではあるが、本当にこれでよかったのか、他にもっといいものがあったのではないかと迷う気持ちをつきそうとしている。
エ 自分がねばりづよくたくさんのカメラを見比べた結果、望み通りのすばらしいカメラを買えそうなのがうれしく、三万円以内という値段にも満足している。

問十 この文章で「シユテファン」はどのような人物としてえがかれていますか。その説明として最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分が納得できないことは絶対に受け入れず、周囲の人々に迷惑をかけたとしてもなんとも思わない自己中心的な人物。
イ 自分の思いをなかなか表現することができないが、他人の気持ちに合わせて周囲を気づかうことのできるやさしい人物。
ウ 自分自身のしつかりとした考えを持ち、何事もいいかげんなままにはしないでねばり強くやりとげることのできる人物。
エ 自分の高い理想を追いかけて、その実現のために努力をするが、少しも相手にゆずることをしないプライドの高い人物。

問十一 この文章で「シユテファン」はカメラに強いこだわりを持っている少年としてえがかれています。あなたにはこだわっているものやこだわっていることはありませんか。そのこだわりについて、次の条件にしたがって、書きなさい。（句読点や記号も一字に数えます）

- ・ なぜこだわるのか理由も書くこと。
- ・ 八十字以上百字以内で書くこと。
- ・ 文の数は二つ以上でもかまわない。
- ・ 一マス目から書き始めること。
- ・ どのような内容でもかまわない。

問題一

e	c	a
	d	b

問題二

e	c	a
	d	b

得 点

[illegible][illegible]

問七

ア	
イ	
ウ	
エ	
オ	

問十一

あ		い	
---	--	---	--

[illegible]

「それでしたら、ご希望のカメラは

[illegible][illegible]